

みんなで
つくる
園の未来!

保育ナビ

3

2025
MARCH
<12/12>

特集

「名前のない世界」 に出会う ～保育とアフォーダンス～

スペシャル対談

共に生きるための
「インクルーシブ」「評価」「子ども観」

中川 綾 × 松井剛太

子どもたちのミーティング Q&A
番外編その2

担任同士の打ち合わせ

ビジュアルで読み解く！
園の危機管理ポイントチェック
現場のガバナンス



『保育ナビ』の使い方

読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。右の二次元コードからアクセスしてください。



マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

Hoiku
navigation

『保育ナビ』が
伝えたいこと

新しい理論を取り入れて 保育の可能性がふくらむ

読者の皆さんは「アフォーダンス」という言葉を知っていますか。「環境にある行動の可能性」のことで、環境をより分析的に捉え、改善するための手立てにもなり得るものです。今月の特集では、保育環境のアフォーダンスについて考え、子どもの育ちを支える保育の環境構成の根拠を探っています。園の環境や子どもの多様な能力について、新たな可能性を見出すためのヒントとなりますように。

——『保育ナビ』編集部

『保育ナビ』は、
編集委員がサポート
しています。

秋田喜代美（学習院大学）
浅井幸子（東京大学）
大方美香（大阪総合保育大学）
大豆生田啓友（玉川大学）
北野幸子（神戸大学大学院）
古賀松香（京都教育大学）
境 愛一郎（共立女子大学）
汐見稔幸（東京大学名誉教授）
砂上史子（千葉大学）
松井剛太（香川大学）
無藤 隆（白梅学園大学名誉教授）
矢藤誠慈郎（和洋女子大学）
敬称略 50音順

巻頭

園 フレーベルのことは 汐見稔幸 小西貴士

スペシャル対談

リ 共に生きるための
「インクルーシブ」「評価」「子ども観」…4
松井剛太（香川大学准教授） 中川 綾（株式会社アソビジ代表取締役）



特集

主 「名前のない世界」に出会う
～保育とアフォーダンス～…10

細田直哉

注目テーマ

園 幼保小の架け橋に
「10の姿」で見る小学校の活動…22
無藤 隆

なるほど！
「こども誰でも通園制度」…24
秋田喜代美

共創のためのリスペクト型マネジメント
地域の学び合いで
研修づくり・園づくり…26
大豆生田啓友

保育内容

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
協同性の発達と遊び…30
河邊貴子

0・1・2歳児保育の
センス・オブ・ワンダー…32
井桁容子

リ チャレンジ！
子どもの姿ベースの指導計画…34
大豆生田啓友 岩田恵子

子どもに保育研究を伝える
～子どもたちへのメッセージ～…38
松井剛太 吉田貴子

リ エコロジカルな園庭へ
再生のための実践ゼミ…40
小西貴士 ポール・スミザー 汐見稔幸

主 密着！
ミドルリーダーのしごと…44
境 愛一郎

保育の種
子どもの健康を守るために…46
認定こども園すなはら

若手育成のための
文章の書き方練習帳…47
浅井拓久也

園 子どもたちのミーティング
Q&A…48
青山 誠

information…49

国の動き

主 国の動きを読む！
研究者の目2024…50
矢藤誠慈郎

園経営

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営2024…52
桑戸真二 四村保志

ビジュアルで読み解く！
園の危機管理
ポイントチェック…54
脇 貴志

人材育成

「人格」を軸とした人事と研修
エリクソン ティール組織
東洋思想から学ぶ…56
久保健太

リーダー座談会
人材育成 わいわい語り場Ⅲ…60
砂上史子

「保育ナビ」
スペシャル
対談

Special Talk

共に生きるための 「インクルーシブ」「評価」 「子ども観」

子どもたちが自分に合った学び方を選択できる教育システムを日本で広げようと奮闘する中川綾さんと、子どもの声に耳を傾け、大人の「ものさし」を疑い、新たな評価の形を探る松井剛太先生が「インクルーシブ」「評価」「子ども観」について語り合います。

(対談は2024年8月に実施)

様々な業界において活躍されている方々をお招きし、じっくりとお話をうかがいます。保育を捉え直そうとする際のきっかけが見つかります。

写真／渡辺 悟

聞き手

松井剛太
(まついこうた)



ゲスト

中川綾
(なかがわあや)



香川大学教育学部准教授。教育学博士。主な著書に「特別な配慮を必要とする子どもが輝くクラス運営—教える保育からともに学ぶ保育へ」(中央法規出版)、『子どもの声からはじまる 保育アセスメント』(共著、北大路書房)など。

株式会社アソビジ代表取締役。福島県・磐梯町教育再デザインセンターセンター長。元中学高校教諭(保健体育)。2010年、日本イェナプラン教育協会を設立。だれもが自分に合った学び方を選択できる環境づくりを目指し、教育界に新たな選択肢を示す。著書に『あたらしいしよがっこうのつくりかた』(ナガオ考務店)など。

特集

「名前のない世界」に出会う

～保育とアフォーダンス～

大人は「名前のある世界」に生きていますが、子どもは「名前のない世界」を見ている。保育者は「名前のない世界」と「名前のある世界」の間に立ち、環境を通して子どもの育ちを支える専門職です。実践のキーワードは「アフォーダンス」。アフォーダンス理論の研究者である細田直哉先生と一緒に、保育環境のアフォーダンスについて考え、子どもの育ちを支える保育の環境構成の根拠を探ります。

監修・執筆／細田直哉（国立市幼児教育センター所長）

イラスト／Yuzuko

アフォーダンスって何!?

アフォーダンス。ほとんどの人は初めて聞く言葉かもしれません。しかし、実は、だれもが知っていて、私たちの暮らしや子どもの育ちを支えているもの、それがアフォーダンスです。

アフォーダンスとは簡単に言えば「環境にある行動の可能性」。発見したのは、アメリカの心理学者J.J.ギブソンです。ギブソンによれば、環境の中に人が見ているのは単なる「モノ」ではなく、「それで何ができるのか」という「行動の可能性」です。それにはまだ「名前」がなかったので、afford（「～できる」という意味をもつ動詞）を名詞化して「アフォーダンス（affordance）」と名づけました。

アフォーダンスはモノの「名前」を超えています。例えば、「机」は「モノをのせ、読み書きをする台」を意味しますが、実際の「机」は「もぐる」こと、「のぼる」こと、「バリケードにすること」など、多様なアフォーダンスがあります。つまり、1つのモノには多様なアフォーダンスがあります。また、多様なモノの中に同じアフォーダンスが見つかることもあります。次頁の「のぼるアフォーダンス」の例のように。



例えば、 どうして子どもは机に「のぼる」!?

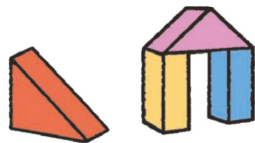
すべての子どもに「自ら育つ力」があります。そのため、今の自分を超越する「行動の可能性」を環境の中に探しています。例えば、平らな場所での「ハイハイ」や「歩行」を身に付けた子どもはもっと難しいこと、「のぼるアフォーダンス」に自ら挑戦します。環境の中に「のぼる場所」が見つからない時には「机」にのぼります。そこに「のぼるアフォーダンス」があるからです。

あなたなら、
こんな時、
どうしますか?



保育者が「困った」と感じる子どもの姿は、実は、子どもの「自ら育つ力」の現われ。「のぼってはダメ!」と言うだけでは「育ってはダメ!」と言うのと同じ。

どうする? 「のぼるアフォーダンス」を ほかの環境で構成!



保育者に
のぼる



築山に
のぼる

Contents

「ヨコの面」と「タテの面」に
注目! ...P.12

アフォーダンスで
4つの空間を考える ...P.14

子どもの遊びが深まる
モノの関係が見える配置とは ...P.16

保育環境の5つの構成要素 ...P.17

子どもの育ちと
モノ・ヒト・コトとのかかわり ...P.18

まとめ

「名前のない世界」と
「名前のある世界」の間で ...P.19

オピニオン

「保育環境のアフォーダンス」を
考える ...P.20



マットに
のぼる

「子ども主体の保育」を深める

保育内容 INDEX

30

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
協同性の発達と遊び

まとめとして：3年間の遊びの
育ちと友だち関係の育ち

32

0・1・2歳児保育の
センス・オブ・ワンダー

保護者理解のための
共感的かわり

34

チャレンジ！
子どもの姿ベースの指導計画

計画の考え方

38

子どもに保育研究を伝える
～子どもたちへのメッセージ～

違うって楽しいね

40

エコロジカルな園庭へ
再生のための実践ゼミ

専門家と“園庭”について話そう

44

密着！ミドルリーダーのしごと

理念・目標と実践をつなぎ、
「園の保育」をつくる

46

保育の種
子どもの健康を守るために

体の穴の話②

47

若手育成のための
文章の書き方練習帳

実は、文章は「見た目」も
大事なんです

48

子どもたちのミーティング Q&A

番外編 その2

担任同士の打ち合わせ

知識を学ぶ

考え方・発想を学ぶ

スキルを学ぶ

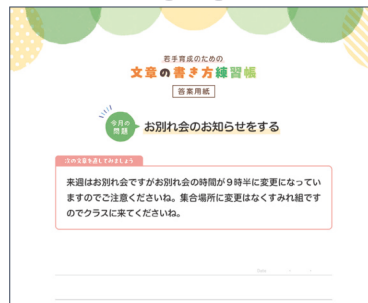
「子ども主体の保育」を 深めるために

「子ども主体の保育」を進めるうえで役に立つ保育実践の知識や考え方、発想、スキルについての記事を掲載しています。ご自身や自園の保育に使える部分を試してみる、園内で共有するなど、ぜひご活用ください。

PICK UP!

子どもの遊びは、「遊ぶ」から「遊び込む」へと充実し、そのプロセスの中でモノやコト、人とのかわりが深まります。3年間の遊びの様子を比較し、子どもの育ちを確認します。

PICK UP!



連絡帳や記録等に役立つ文章の書き方のコツの最終回です。今月は、読みやすい構成にするためのテクニック。例題の作文にもチャレンジしてみてください。（写真は答案用紙です）

チャレンジ!!

子どもの 姿ベースの 指導計画

監修・執筆 大豆生田啓友（玉川大学）
執筆 岩田恵子（玉川大学）

子どもの主体性を大切に保育を目指す時、記録や計画はどうあるとよいのでしょうか。子どもの姿をベースにした指導計画を目指す、「なびこども園」の奮闘を通して考えてきたことを振り返りましょう。

3月のテーマ

計画の考え方

子どもの姿ベースの指導計画って何？ 1年かけてこのテーマに取り組んできた、なびこども園。最終回は、1年の振り返りと計画の考え方を紹介します。



イラスト/すぎやまみこ

プロフィール●大豆生田啓友（おおまめうだ ひろとも）／玉川大学教育学部教授。日本保育学会副会長、こども環境学会副会長。こども家庭庁「こども家庭審議会」委員および「幼児期までのこどもの育ち部会」委員、文部科学省「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会」委員。著書に「子どもの姿ベースの指導計画シリーズ」（フレーベル館）ほか、多数。



岩田 恵子
(玉川大学)

1年間を振り返り、子どもの主体性を大切にしたい保育を目指す時の記録や計画について考えましょう。

ポイント1

「子ども主体ってなんだろう」から考える計画

この連載の4月号では、「子ども主体ってなんだろう」と問うことから始めました。その時に見えてきたことは、①その子らしく過ごすこと、②保育者は子どもの見ている世界を共に味わい、感じながら、関係のなかで見えていくこと、③保育者も主体として、子どもとも保育者同士でも対話しながら共に探究していくこと、でした。

これを計画作成と合わせて考えてみたいと思います。あらかじめ1日の活動を決めてしまう(計画する)と子どもが「その子らしく過ごす」ことを支えることは困難です。こういう活動・経験をしてほしいと保育者が綿密に計画しても、その子のその時の興味・関心と「ずれ」が生じ、「その子らしく過ごす」ことから遠ざかってしま

うからです。

「その子らしく過ごす」ためには、今ある子どもの姿・見ている世界を、「保育者も共に味わい、感じながら、共に見ていく」ことがスタートです。子どもの見ている世界に気付くと、自然に子どもとの対話が生まれ、もっとおもしろくなるようにと考えてみたくなります。このような保育の営みの中では、計画もまた、子どもと対話しながら、少しずつ生まれてくるものとなります。

子ども主体の保育のキーワード

- ①子どもがその子らしく過ごすこと
- ②保育者が子どもの世界を共に味わうこと
- ③子どもと、また保育者同士と対話しながら探究していくこと

ポイント2

計画はどう見直したらよいのでしょう

上記のような、実践を通して作成する計画のあり方をお伝えすると、「今まで考えていた計画と違う! 一体どうしたらよいのだろう」と途方に暮れてしまうかもしれません。

それを解決するためのヒントが本連載には詰まっていたように思います。いきなり「計画や記録のフォーマットを変えよう!」とするのではなく、まずは今までのフォーマットに保育中の写真を貼ってみるところから始めました。また、保育ウェブ型の計画・記録で、今の子どもの姿から、少し先の姿を模索してみることもご紹介しました。

6月号でご紹介したように、計画・記録の書式も1つの正しい形があるわけではなく、園の保育のあり方に合わせて様々です。すでに子どもの姿ベースの計画を作成している園では、今の子どもの姿を記録したうえで作成された



ポイント2

計画であること、保育者が出会った思いがけない（つまり、保育者の想像と異なる）子どもの姿が大切にされていること、子どもの思いと保育者の思いの「ずれ」が、新たな世界を広げるものとして大切にされていること、があるように思います。また、保育に合わせて計画の形式は柔軟に見直されています。

子どもの姿ベースの指導計画のポイント

- ①子どもの姿が反映されていること
- ②予想外の子どもの姿があること
- ③「ずれ」をポジティブに捉えて大切にすること

ポイント3

保育実践と共に変化する 計画のありよう

「その子らしく」過ごすということとは、保育そのもののあり方の中に埋め込まれています。

例えば、保育者が「この活動は〇歳児の育ちのなかで大切だから、みんなで一緒に活動したい」と計画し、丁寧に準備したとしても、その活動に臨む一人ひとりの子どもの「思い」は異なります。保育者が事前に準備すればするほど、参加しない子どもの「思い」は「ずれ」、すなわち計画上のねらいと異なる子どもの姿となってしまいます。

この号で考えてきたように、子ども一人ひとりの「思い」や「願い」に気付き、それを大切にするために、保育者があらかじめ全部を計画するのではなく、子どもが出会ったことに保育者も共に

会い、驚き、探究していくことが大切です。そのためのキーワードが子どもとの対話、保育者同士の対話です。そして、子どもの「思い」や「願い」と共に、保育者の「思い」や「願い」も織り込まれるのが記録であり、計画です。



ポイント4

園のリーダーとしての

「計画」の考え方

子ども主体の保育を目指す園では、計画と記録は実践に合わせて日々変化していきます。それは保育実践そのものが、子どもの主体性を大切にしながら、保育者の思いと願いも織り込まれて、日々よりよくなるように変化しているからです。

その際、園のリーダーの皆さんには、保育者が子どもを見るのと同じ視点で、保育者の取り組みを見守っていただきたいと思えます。すなわち、保育者が子ども一人ひとりの「思い」や「願い」を大切にすることと同じ視点です。

計画・記録を変える試みをしたある園の園長先生が、

「子どもの声を聴き、保育者同士が語り合い、保育者がその人らしく保育を行う営みが始まった時、『本当にうちの職員ってすごい！』と「思った」とおっしゃったことが忘れられません。「子どもってすごい！」を日々見出すことで、「保育者もすごい！」ということに気付かれたのです。

私もさらに、これからの新しい計画と記録のあり方を様々な実践を参考に考えていきたいと思えます。この連載をきっかけに、皆さんから「挑戦してみました！」というお話をうかがえる機会も楽しみにしています。

1年間、子ども主体の計画のあり方を考えてきました。全国の多くの園が子ども主体の保育を行う流れがある中で、週案や月案の「書き写し」を行っているなど、計画作成は負担感が大きく、しかも役に立たないという声をたくさん聞いてきました。そこで、本連載では、子どもの姿をベースに書く計画、記録と計画を一体的に書く計画（ドキュメンテーションや保育ウェブなど）、後追い型の計画（おおまかに書いておいて、あとで書き足すなど）を紹介してきました。少しでもみなさまのお役に立てたのであれば、幸いです。



大豆生田啓友
(玉川大学)



information

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

『保育ナビ』は SNS や公式サイトでも様々な情報を配信しています。
より早く、より詳しい情報を知るためにぜひともチェックしてみてください。

公式サイト 『保育ナビ』最新刊はもちろん、バックナンバーや
保育ナビブック、特別コラム等の情報をお届けしています。



Facebook 『保育ナビ』のおすすめコーナー、特別コラムの
更新情報などを発信しています。



YouTube 「保育ナビ YouTube チャンネル」では、大豆生田啓友先生に
よる「保育ナビらじお」、保育ナビ編集委員の先生方による
オピニオンなどを配信。



Instagram 編集部からの情報や
保育ナビの注目 Topic をお届けします。



保育ナビ

遊びが育つ保育Ⅱ 遊びとクラス活動のデザイン

2025年
2月刊行



編著／河邊貴子（聖心女子大学）
田代幸代（共立女子大学）
事例／東京学芸大学附属幼稚園
定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）
104 ページ 26 × 18cm
ISBN 978-4-577-81553-3 108-33

子どもと保育者が応答的な関係を築きながら 充実した遊びが展開される保育へ

子どもの主体性は最大限尊重されなければなりません。しかし、それはただ子どもが遊ぶがままに任せていけばよいということではありません。友だちとかかわりながら遊びを創り出す途上で、新しい環境が必要になったり、様々に生じる課題を乗り越えるための保育者の援助が必要になったりします。保育者の適切な理解に基づく環境の構成や直接的な援助が必要であることは言うまでもありません。「遊びが育つ保育」とは、子どもと保育者が共に応答的な関係を築きながら、充実した遊びが展開される保育を指すのです。（「はじめに」より）

Contents

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 第1章 遊びとクラス活動 | 第4章 遊びと行事 |
| 第2章 遊びからつながるクラス活動 | 第5章 長期的なまなざしで見える遊びとクラス活動 |
| 第3章 クラス活動から広がる遊び | コラム これまでの保育論から学ぶ |

※より良い内容とするため、表紙と内容は変更となる場合があります

フレーベル館主催セミナー

フレーベル館 保育セミナー

オンデマンドセミナーのご案内

希望の視聴月 1 か月間はいつでも好きな時に何度でもご受講いただけます！
（視聴期間は各月の 1 日～末日となります）

2025年3月配信開始予定のオンデマンドセミナー

ゼロから始める園内研修のコツ

※ 2024 年 11 月に開催された LIVE セミナーの再編集版

組織マネジメントのエキスパートである講師が、すぐに実行に移せるような園内研修のポイントについて解説いたします。

●講師 矢藤誠慈郎 先生（和洋女子大学教授）



運動遊びが引き出す子どもの全面発達

※ 2024 年 11 月に開催された LIVE セミナーの再編集版

幼児健康学、幼児体育の専門家である講師が、具体的な事例も示しながら、全面発達を促す関わりについて解説いたします。

●講師 嶋崎博嗣 先生（東洋大学教授）



子どもと大人が育ちあう「場」を考える

～保育環境づくりから地域との連携まで～

第1回 保育環境編 第2回 地域連携編

※ 2024 年 11 月に開催された LIVE セミナーの再編集版

こども環境学・環境心理学が専門の講師が、多くの事例を通して環境づくりについて解説いたします。

●講師 佐藤将之 先生（早稲田大学教授）



保育士等キャリアアップ研修はこちら

※一般社団法人フレーベル子育てちラボの
サイトへ遷移します



2025年度の保育セミナーラインナップも
乞うご期待!

※配信時期、テーマ、内容、受講料、講師は予定です。一部変更となる可能性がございます。
最新の情報や申込方法・セミナーの詳細はフレーベル館ホームページからご確認ください。
（右の二次元コードからアクセス、もしくは「フレーベル館 セミナー」で検索してください）

